

# リハビリ志向コミュニティをつくる 多様な援助関係

精神疾患を有する人のリハビリに焦点をおく教育や実践には、複合的な関係を包容した当事者との協働が有益であることがわかってきています。

リハビリを促進するためには、教育・啓発活動において当事者が活動すること、実践においてピアスタッフやユーザーと協働すること、援助において希望に寄り添うことなど、多様な協働のあり方が存在します。

本企画では、地域啓発、地域医療(クリニック)、地域支援(アウトリーチ)の3領域におけるリハビリ促進に向けた実践を紹介するとともに、リハビリ教育に有益な交流の時間を設け、教育と実践へ理解を深めることを目指します。

## シンポジスト

1. 伊藤竹海 (仙台スピーカーズビューロー)

「わたしのリハビリに対する思い」

2. 村本好孝 (札幌なかまの杜クリニック, 株式会社ここから)

和田智子 (札幌なかまの杜クリニック, ピアスタッフ)

「当事者参画の促進による精神保健活動の実践～当事者が創った精神科クリニック」

3. 児島一行 (訪問看護ステーションなごみ,

特定非営利活動法人相双に新しい精神科医療保健福祉システムをつくる会)

「希望に寄り添い、支える支援者として ～病院から地域～」

司会 大熊恵子(宮城大学)、大川貴子(福島県立医科大学)

企画 安保寛明(山形県立保健医療大学)

主催 日本精神保健看護学会教育活動委員会 後援 宮城大学

日時:2016年1月23日(土) 13時～15時30分 開場12時30分

\*30分程度の交流セッションを含みます。

場所:宮城大学 地域復興サテライトキャンパス

参加費:会員 無料、非会員 1,000円(資料代として当日お支払いください)

<参加申し込み>

①氏名、②所属、③会員または非会員、

④交流セッション希望(上記シンポジストテーマの1から3)

を明記の上、事務局アドレスまでメールでお申し込みください。

シンポジウム事務局:メールアドレス [japmhn.seminar@gmail.com](mailto:japmhn.seminar@gmail.com)

申し込み締め切り 1/19(火)まで (定員50名)

※個人情報は適切に管理を行い、本シンポジウムに関するご連絡にのみ使用します。

※お問い合わせは、シンポジウム事務局までお願いします。

# ＜会場案内＞

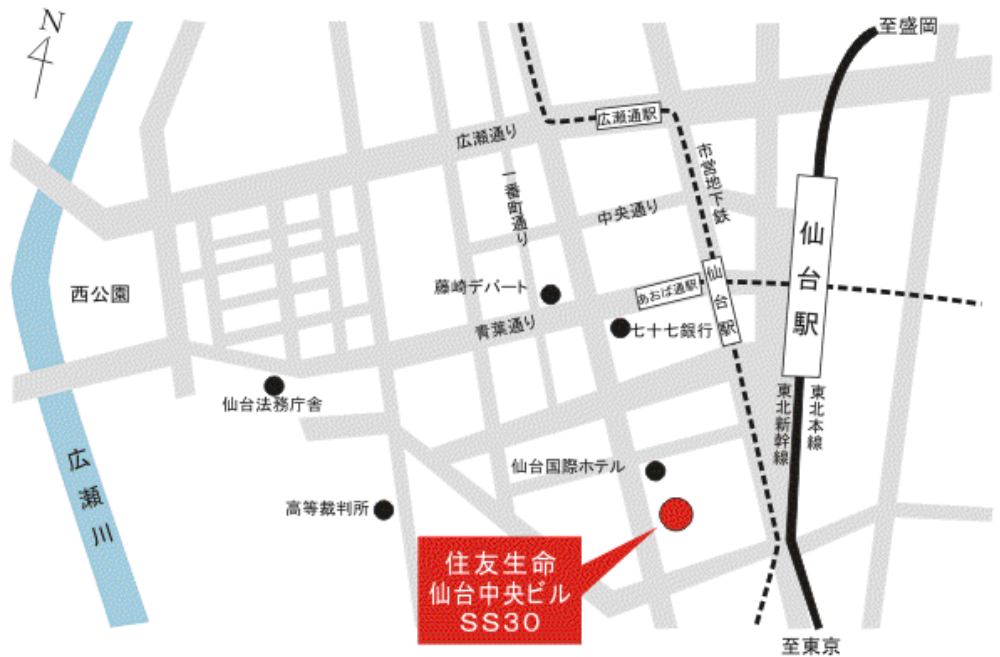
## 公立大学法人宮城大学 地域復興サテライトキャンパス

〒980-6002

宮城県仙台市青葉区中央4丁目6-1

住友生命仙台中央ビル(SS30)2階、20階

Tel. 022-716-6692



【電車】 JR仙台駅から徒歩8分 JRあおば通駅から徒歩7分  
市営仙台市地下鉄仙台駅から徒歩6分

【車】 東北自動車道仙台宮城ICから約10分  
〈地下有料駐車場〉

時間 / 7:00～23:00 料金 / 30分毎200円

場所 / 住友生命仙台中央ビルSS30 地下2階